

右京区
水尾学区版

保存版
令和3年
5月発行

京都市
土砂災害
ハザードマップ

あなた、家族、地域の命を土砂災害から守るためのポイント

ポイントを確認し、
具体的な避難を
考えましょう

ポイント1

原則は 早い段階で安全な場所へ
逃げ遅れたら その場そのときで最も安全な場所へ

ポイント2

情報にしがいい適切に避難

ポイント2

情報にしがいい適切に避難

土砂災害や洪水災害などの危険性が高まった地域には、避難情報が発令されますので、その地域にいる方は、早めに避難しましょう。しかし、局地的な雨の場合には、避難情報が出ない場合があります。避難情報が無くても、いつもと違うと感じたら避難しましょう。

ポイント1

原則は 早い段階で安全な場所へ
逃げ遅れたら その場そのときで最も安全な場所へ

早い段階で安全な場所へ避難することが大原則ですが、逃げ遅れてしまった場合には、その場そのときの状況で最も安全と思われる場所で身を守りましょう。

原則 /

早い段階で安全な場所へ

早い段階で安全な場所に避難することが大原則です。

早い段階ってどんなとき？

例えば...

◎事前に大型の台風や大雨が予想される場合

◎夜中に雨が降り続く予想される場合

◎避難情報を聞いた場合

◎前兆現象などいつもと違うと感じた場合

急激な天候の変化など、早い段階で避難できない場合もあります。逃げ遅れてしまったときのこと考えておきましょう。

逃げ遅れたら /

その場そのときで最も安全な場所へ

逃げ遅れてしまったら、その場そのときの状況で最も安全と思われる場所で身を守りましょう。

逃げ遅れたときってどんなとき？

例えば...

◎避難経路が浸水しているおそれがある場合

◎急激な大雨により、土砂が急に迫ってきた場合

◎最寄りの指定緊急避難場所や警戒区域外へ避難するのが危険と感じた場合

注意

◎浸水の中を避難するのはとても危険です。

アンダーパス

マンホール

地下

我が家の防災行動計画「マイ・タイムライン」を作成しましょう！

○住んでいる場所や家族構成によって、災害時に取るべき行動やタイミングは異なります。普段から防災意識を高め、適切な避難行動を知るため、家族や地域で相談しながら、防災行動計画「マイ・タイムライン」を作成しましょう。

○ウェブサイト（京都市防災ポータルサイト）で作成できます。また、区役所・支所、消防署でリーフレットも配布しています。

京都市防災ポータルサイト マイ・タイムライン

検索

どんなところに逃げればいいのか？

例えば...

◎お住まいの学区の指定緊急避難場所

◎土砂災害と水害の危険性の低い地域の親戚、友人宅など安全な場所

※指定緊急避難場所に避難するときには、まず、開設を確認しましょう。

確認方法 [1]

確認方法 [2]

確認方法 [3]

ポイント2の「情報の受け取りかた、調べかた」を参照

わたしの早い段階の避難先は？

雨・風が強くなる前、暗くなる前の早い段階で、安全な場所に避難することが大原則です。

マップで確認して記入しましょう。

お住まいの学区の指定緊急避難場所

〇〇小学校

土砂災害と洪水災害の危険性の低い地域の親戚、友人宅など安全な場所 記入欄

どんなところに逃げればいいのか？

例えば...

◎指定緊急避難場所に限らず、最寄りの高く頑丈な建物

◎自宅の2階以上で斜面から離れた部屋

わたしの逃げ遅れたときの避難先は？

逃げ遅れてしまったら、その場そのときの状況で最も安全と思われる場所で身を守りましょう。

最寄りの高く頑丈な建物、自宅の2階以上で斜面から離れた部屋 記入欄

◎土砂災害から避難するときにはこんなことに気をつけましょう。

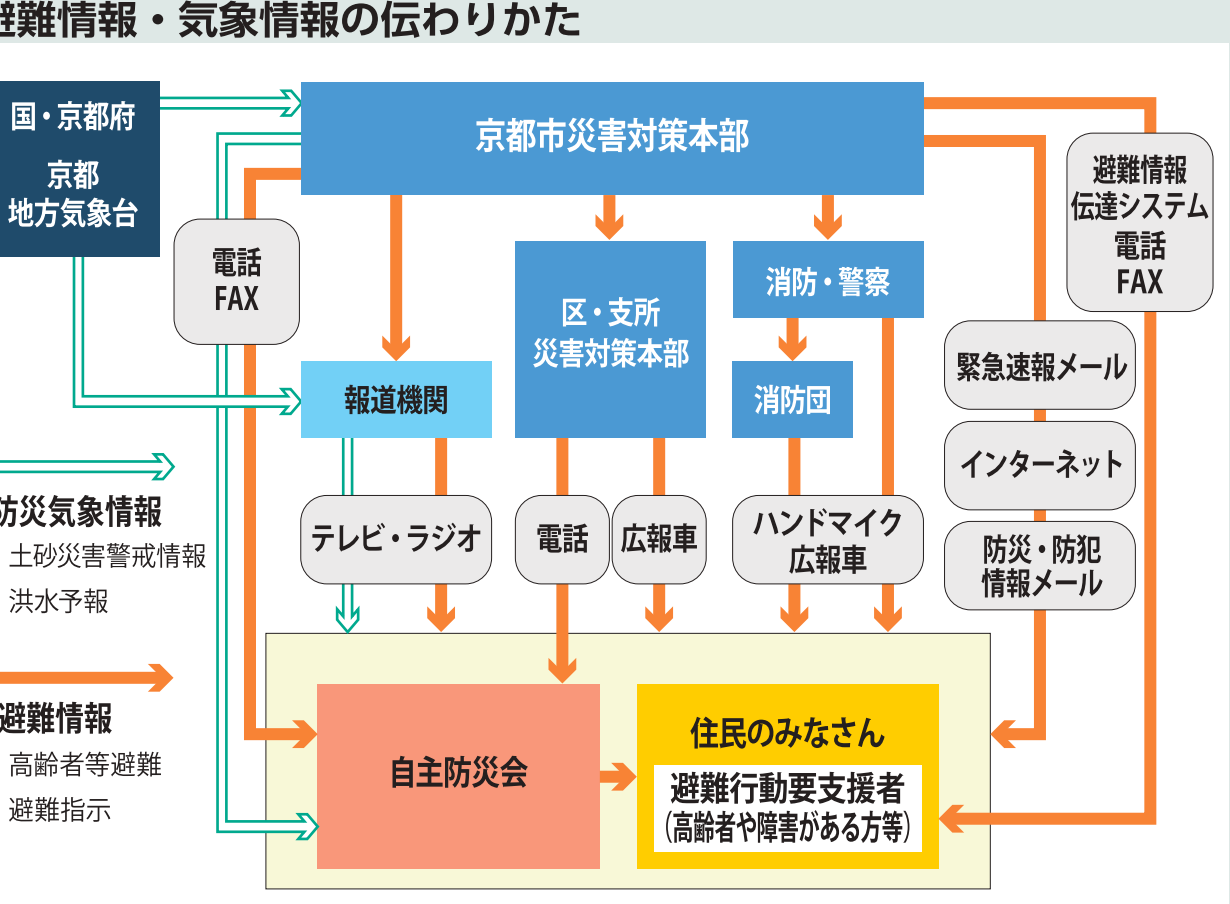
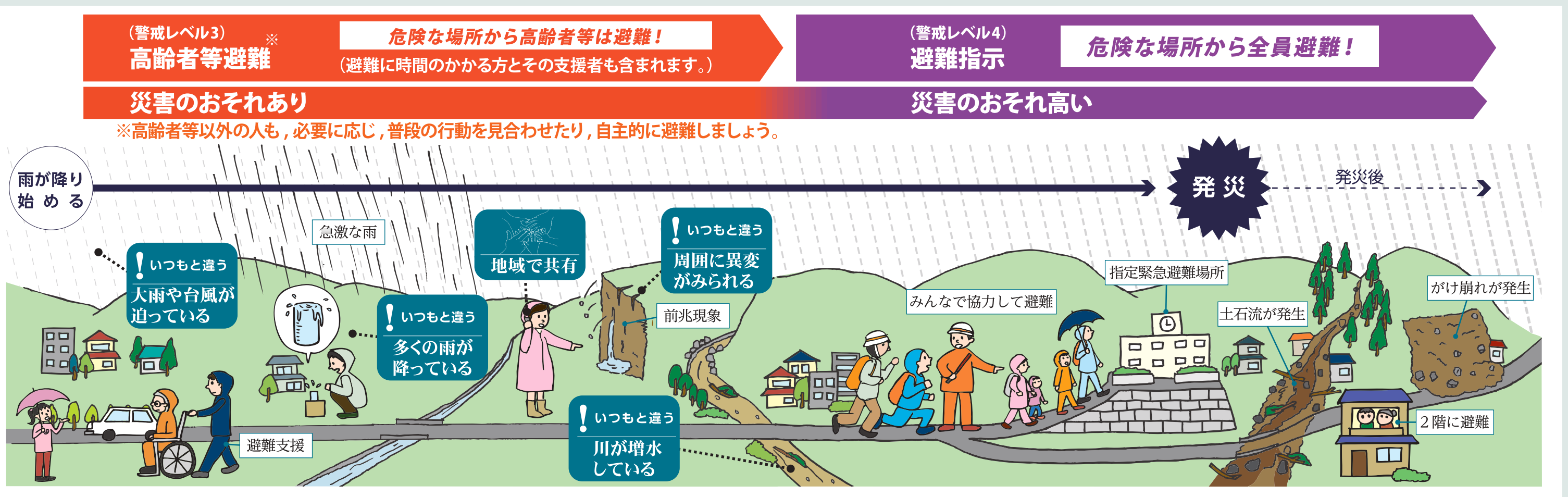
増水

斜面

危険

マップで確認して記入しましょう。

発行 京都市 | 京都市印刷局 34176 号
問い合わせ先 京都市行財政局防災危機管理室
TEL：075(222)3210 FAX：075(212)6790



情報の受け取りかた、調べかた

情報を受け取る

インターネットで調べる

テレビで調べる

ラジオで調べる

いつもと違う 気象情報

大雨や台風が迫っている

気象情報を積極的に入手しましょう。

◎土砂災害警戒情報

◎土砂災害危険度情報

◎注意報・警報・特別警報

いつもと違う 前兆現象

周囲に異変がみられる

土砂災害が発生する前には、前兆現象が確認されることがあります。次のような現象を発見したら、ただちに区役所等に通報したり、避難を開始したりしましょう。

がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）

地すべり

土石流

周辺の雨

地域の避難ルール

指定緊急避難場所が最寄りに無い場合は、地域で話し合い、安全が確保できる建物などを決めておきましょう。また、周囲に異変を感じたら地域で情報を共有できるよう、ルールを決めておきましょう。

◎地域で避難ルールを決めておく

1. マップの「避難の際の危険箇所」などを参考に、周囲の異変を確認する場所や安全が確保できる建物を地域で取りまとめる

2. 周囲の異変をどのように地域で共有するのかを定める

3. 周囲の異変の確認や避難ルールに基づき訓練する

非常持ち出し品リスト

非常持ち出し袋（リュックサックなど）に入れておくもの

非常食

飲料水

救急セット、常備薬（処方箋）

携帯ラジオ

懐中電灯

乾電池・充電器類

貴重品

現金（公衆電話用に10円玉）・通帳・印鑑・健康保険証・運転免許証など

マスク

手指消毒用アルコール

ウェットティッシュ

体温計

ティッシュペーパー

タオル・ハンカチ

軍手・厚手のゴム手袋

筆記用具（油性ペン）

防寒具・雨具

あとと便利なもの

着替え

卓上コンロ・携帯ガスボンベ

使い捨てカイロ

ビニール袋・ゴミ袋

ヘルメット

防水ビニールシート

布粘着テープ

ナイフ・はさみ・ドライバー

ローソク・マッチ・ライター

京都市土砂災害ハザードマップ

家族構成によって必要なもの

乳幼児

離乳食、粉ミルク、ほ乳瓶、おむつ、おしりふきなど

非常持ち出し品を事前に用意しておきましょう。

防災に関する相談

地域で異変を感じたら（前兆現象を発見したら）
右京区役所地域力推進室 075(861)1784 へ電話

防災に関すること

消防に関すること

危険宅地の防災

生活相談に関すること

右京区役所地域力推進室

行財政局防災危機管理室

京都市消防局（代表）

都市計画局開発指導課

右京区役所（京京保健福祉センター）

075(861)1784

075(222)3210

075(231)5311

075(222)3558

075(861)1101

災害用伝言ダイヤル 171

災害用伝言板 web171

災害用伝言ダイヤル 171 と web171 は、災害の発生により、安否確認や問い合わせなどの電話が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。

URL <https://www.ntt-west.co.jp/dengen/web171>

緊急通報先

火事・救急・発動 119

警察・事件・緊急 110

道路災害（陥没、冠水、土砂崩れなど）

建設局西部土木みどり事務所

環境政策局西部まち美化事務所

環境政策局まち美化推進課

環境政策局生活環境美化センター

環境政策局まち美化推進課

医療衛生センター

075(871)6721

075(882)5787

075(222)3952

075(681)5361

075(222)3952

075(746)7214

ライフライン

上下水道局西部営業所

NTT西日本

関西電力送配電ダイヤル

大阪ガスネットワークガス漏れ通報専用電話

075(841)9184

0120(444)113

0800(777)3081

0120(819)424